

① 経営体の概要

- 所在地:宮崎県門川町
- 経営体名:門川町高糖度トマト生産組合
7戸
- 栽培作物:高糖度トマト
- 施設面積:4ha(年3作)



【ハウス外観】

② 導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- クラウドサービス:
kintone(ダンクソフト社)
- 営農支援サービス:
RightARM(テラスマイル社)



←【kintone画面】



【RightARM画面】→



③ 導入の経緯

○出荷先であるJA日向の糖度センサー一体型選果機施設設置をきっかけに、組合員の栽培状況や品質情報(特に糖度)の共有や効率的な出荷体制確立の必要性を感じたため。

④ 導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

○なし

⑤ 導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

○組合員は栽培管理データと出荷量・糖度などの選果実績をリアルタイムで情報共有し、組合員間で週1回勉強会を開催している。最大の収益をあげる栽培方法を考察することにより、品質向上につながっている。

○各組合員は、週間出荷予測データをタブレットに入力し、JAへ報告するとともに、JA担当者と週1回販売会議を行い、取引先の需要に合わせた販売体制を構築できた。出荷量不足による欠品が減り、取引先からの信頼が向上した。



【栽培管理モニター】



【ハウス内】

⑥ 導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

○現在、原因不明の病害の発生等で収穫量が低下しており、今後、各組合員が更に細かくデータを入力し、栽培管理記録を蓄積し分析することで、原因究明など新たな技術向上につなげたい。

○ハウス内に定点監視カメラやWebカメラを設置し、作業映像の共有による組合員のオンライン実習や後日の勉強会動画資料として活用してみたい。

また、遠隔地から生育状況把握が出来るようにしたい。